

“水”が生きるまちをめざして

～越前おおのからの発信～



(天空の城 越前大野城)

地下水保全に向けてさらなる取り組みを!

昭和50年代の「冬の井戸枯れ」から始まった「地下水を守る運動」は、「地下水保全の施策」につながり、昭和52年「地下水保全条例」の策定、地下水観測井の設置、平成8年「水源涵養ブナ林196haの買い上げ」と、全国にも例がない誇るべき市政運営を実現してきました。平成27年12月に、市議会は「大野市健全な水環境のまち宣言」を採択し、関係機関・団体・市民・企業・研究機関が協働で地下水保全の取り組みをさらに進めていくことを宣言しました。

限りある良質の“水”循環を次世代に!

世界各地で水環境の汚染が問題になる中、直に汲み上げて飲用できる地下水の恩恵を大野市民は享受しています。しかし、頻発する地震・異常気象がもたらす災害は、大事な「命ある水の循環」を奪いかねないことも、承知しています。

プログラム・日程と内容

11月18日～19日

パネル展示 (会場: 3Fロビー, 301, 303号室)
映画「しらうお」上映 (会場: 303号室)

11月18日(金)

12:00～ 見学会受付 (結とびあ 1Fロビー)
13:00～15:00 現地見学会 (結とびあ玄関正面に12:30集合)
15:00～ 会議参加受付 (3Fロビー)
15:30～16:00 第32回水郷水都全国会議・越前おおの大会開会式 (307,308,309号室)
主催者挨拶
水郷水都全国会議共同代表 保母武彦
開催地実行委員長 高岡和行
16:00～17:30 事例発表
1. 大野市の取り組み
2. 福井市 (あめゆきcafe・福井工業大学)
18:00～20:00 交流会 (越前おおの産食材料理、地酒) (会場: 305,306号室)
20:30～ 水郷水都全国会議・全国実行委員会 (会場: 「勝山ニューホテル」会議室)

11月19日(土)

9:00～ 会場受付 (3階ロビー)
9:20～9:30 開会のあいさつ (305,306号室)
9:30～11:30 基調講演と対談
嘉田由紀子びわこ成蹊スポーツ大学学長 (前 滋賀県知事)
テーマ
「日本の水環境保全に果たした水郷水都全国会議と大野市の役割」
11:30～13:00 昼食 (305,306号室 または そば祭り会場)
13:00～15:00 分科会
第1分科会「水の循環・水資源の開発」 (307,308,309号室)
第2分科会「災害に負けない協働のまちづくり」 (302号室)
15:15～16:30 全体会 (305,306号室)
分科会報告
総会・大会宣言の採択、解散

11月20日(日)

11月20日(日) オプション・ツアー: 2コース (詳細は別紙)

「自然と人との関わり」を見つめなおし、全国の取り組みを結集して、「水」が生きるまちを次世代に残すために、新たな一步を踏み出したいと思います。

開催要項

日時 平成28年**11月18日(金) 13:00~**
11月19日(土) 16:30まで

*18日は13:00より15:00まで、現地見学を行います。

会場 **多田記念大野有終会館 結とぴあ**
大野市天神町1-9 Tel 0779-65-8766

参加費 登録料(資料代含む)

一般	2,000円
大学生以下	無料(要登録)
現地見学会(18日13:00より)	500円
交流会(18日18:00より)	2,000円
昼食代(19日 昼食の弁当)	1,000円
(19日 そば祭りのそば券)	1,000円

宿泊、交通案内、オプション・ツアー(20日)については、別紙

主催 第32回水郷水都全国会議・越前おおの大会実行委員会

後援 大野市
大野商工会議所 (公社) 大野青年会議所
JAテラル越前農業協同組合 九頭竜森林組合
大野市漁業協同組合 (一社) 大野市観光協会
大野観光自動車株式会社 株式会社松浦印刷所

*県外から参加される方は、弁当またはそば券をご注文されたほうが時間的に便利です。

*18日の現地見学会・交流会には、嘉田由紀子氏も参加される予定です。

*ご予約された方で、当日欠席の場合、参加費および弁当代の返金は出来かねますので、ご理解ください。

「第32回水郷水都全国会議・越前おおの大会」

1. テーマ

“水”が生きるまちをめざして ~越前おおのからの発信~

2. 水郷水都全国会議の沿革

水郷水都全国会議は、1984年(昭和59年)の琵琶湖畔で開催された「世界湖沼会議」に参加した市民の交流をきっかけに始まりました。第1回大会は、宍道湖・中海の干拓問題を焦点に、島根県松江市で開催され、「親水権」の確立を提起しました。

以後、毎年全国各地において、各地域の水環境問題を焦点に取り上げながら、市民・研究者・企業・行政から幅広い人々が参加し、交流を重ねてきました。

越前おおの大会が第32回目の開催となります。

2. 越前おおの大会開催にあたって

昭和50年代の「冬の水枯れ」から始まった大野市民の「地下水を守る運動」は、行政の「地下水保全」に向けての施策につながり、昭和52年「地下水保全条例」の策定、地下水観測井の設置と継続的データの蓄積、分析結果の活用という全国にも例がない誇るべき市政運営を実現してきました。

継続的な取り組みの結果、大野市は「市街地において、ホームポンプで自宅でくみ上げた地下水をそのまま飲む」という環境を保持しています。

昨年、大野市は「Carrying Water Project」事業を立ち上げ、「水の恩恵を世界にお返ししよう」と、新たな歩みをはじめました。市内外の多くの企業・団体・個人が、この事業に賛同し、活動の輪を広げています。また、大野市議会は12月定例会で、「大野市健全な水循環まち宣言」を全会一致で採択し、国などの関係機関、団体、市民や企業がそれぞれの役割を担いつつ、様々な取り組みを進めていくことを宣言しました。

この水環境を保全・再生し、さらに豊かな“水”を次世代に繋ぐために、市民として、私たちは今何をすればいいのでしょうか。

ヨシが茂り、ホタルが舞い、梅花藻(バイカモ)が川面を揺らし、川ガニがいて、たくさんの魚・イトヨ・水生昆虫が生きる川。大人が昔、友達と遊んだ川。「生きている川」を取り戻すことは、“水”を取り戻すことにつながります。

「子どもたちが歓声を上げて遊ぶことが出来る川をプレゼントする。そのために慣行水利権の見直しなど山積する課題を、みんなが知恵を出し合い、ひとつずつクリアしていく。県内外の取り組みを学び、また越前おおのから発信していく。そして、次世代に、安心して暮らせる環境を贈りたい。」

本当の“水”を合言葉に、「人と環境とのかかわり方」について見つめなおしたいと考えています。全国各地からのご参加をお待ちします。